



演劇の創造表現手法を用いて
 “主体的で対話と協働のある深い学び”を教室に！

首都圏での連続シリーズ第2弾
 理論と実践の両面から 次代の人材・育成講座！

※1日ごとの詳しい説明は裏面へ→

開催日

7月5日(月) 7月6日(火) 7月7日(水)
 7月26日(月) 7月27日(火) 8月23日(月)
 8月24日(火) 9月11日(土)

講師

西田豊子

劇作、演出家・演劇教育指導者。
 児童青少年演劇・音楽劇・新作狂言など国内外で発表作品多数。北海道や長野等各地の市民参加劇や学校でのコミュニケーション授業など、演劇教育分野でも豊富な実践経験を持つ。0夫人児童演劇賞、東京都優秀児童演劇賞など受賞多数。
 国立身体障害者リハビリテーション学院言語聴覚学科非常勤講師。日本劇作家協会会員。NPO法人アートインAsibina 理事長。

叶雄大

劇作・演出家・表現教育家。玉川大学卒業後、教育分野はNPO法人アートインライブ、演劇分野はNPO法人アートインAsibinaを拠点に活動。2017年度文化庁新進芸術家海外派遣にて1年間渡英、作劇・演出法および演劇教育を学ぶ。玉川大学芸術学部および国立リハビリテーション学院言語聴覚学科非常勤講師。法政大学キャリアデザイン学部兼任講師。

回数 8回 **定員** 各回15名 **時間** 13時～17時
 ※7/5・6・7のみ13時～16時

参加料 無料 **申込み締切日** 7月1日(木)まで必着

対象 児童向け公演に携わる舞台人
 (役者、エンターテイナー、音楽家、劇作家、演出家、制作者など)

- ・単発参加可能ですが、連続参加が可能な方が優先されます。
- ・講座は消毒と換気を徹底し密集を避けて行います。当日、発熱・咳など、体調のすぐれない方は受講をお控え下さい。

会場① 芸能花伝舎



東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎

- 東京メトロ丸ノ内線「新宿」駅【出口2】より徒歩約6分
- 都営大江戸線「都庁前」駅【A5】より徒歩約7分
- 都営大江戸線「中野坂上」【新宿五丁目】駅より徒歩約10分
- 「新宿」駅 西口より徒歩約15分

7月26日(月)、7月27日(火)、
 8月23日(月)、8月24日(火)

会場② 国立オリンピック記念青少年総合センター



東京都渋谷区代々木神園町3-1

7月5日(月)、7月6日(火)、
 7月7日(水)、9月11日(土)

(現)文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」
 2010年、文部科学省により開始された
 「文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」
 芸術体験によるコミュニケーション能力向上事業」

コミュニケーション教育の現場に行くために

IN
 首都圏

第 1 期

第 1 回 7月5日 (月) 13:00~16:00 **会場②** オリンピックセンターカルチャー棟 中練習室
レクチャー コミュニケーション教育の目的と課題を「学校教育と演劇の連携」を中心に紐解き、考え合います。
体験と演習 演劇的教育のルーツは自然発生的な「遊び」。楽しさや遊びが学びに繋がるエクササイズを徹底体験！

第 2 回 7月6日 (火) 13:00~16:00 **会場②** オリンピックセンターカルチャー棟 中練習室
レクチャー コミュニケーション授業の現場で用いたい「演劇的手法」について、まず抑えたい基本の理論から。
体験と演習 上記で紹介の代表的な手法から、いくつかを抜粋し、目的や活用法とともに体験。

第 3 回 7月7日 (水) 13:00~16:00 **会場②** オリンピックセンターカルチャー棟 中練習室
レクチャー 「子ども」とは?! 発達心理学の発達理論をもとに年齢や学齢による子どもの特徴と課題を中心に。
体験と演習 発達理論の原型を、自身の成長過程のエピソード紹介やミニドラマ創作等により、紐解いてみよう。

第 2 期

第 4 回 7月26日 (月) 13:00~17:00 **会場①** 芸能花伝舎 B3
レクチャー 演劇的手法をいつ・どこで・どのように使うか? ファシリテーターの役割と関連付けて、考えます。
体験と演習 教室で有効に活用できる演劇的手法や演習を、「感覚」「身体」「想像」等テーマ別に、徹底体験！

第 5 回 7月27日 (火) 13:00~17:00 **会場①** 芸能花伝舎 B3
レクチャー コミュニケーション授業での活動プログラムについて、実際の映像も交え、構成法の基本を解説。
体験と演習 プログラムの導入部で活用可能なエクササイズを、目的によるアレンジも加えて体験。

第 3 期

第 6 回 8月23日 (月) 13:00~17:00 **会場①** 芸能花伝舎 B2
レクチャー 活動プログラムのデザインその1、小学校国語でオファーの高い「物語」を例に、構成法を解説。
体験と演習 授業の展開部での「話し合う」「つくり合う」「発表する」等の課題と進行を、グループで体験体感。

第 7 回 8月24日 (火) 13:00~17:00 **会場①** 芸能花伝舎 B3
レクチャー 活動プログラムのデザインその2、小学校社会科の中・高学年の単元教材を例に、構成法を解説。
体験と演習 中学年および高学年の「調べ学習」のまとめを「ニュース番組」に構成し、発表する活動に挑戦。
次回への課題 受講生自身の取り組みたいテーマで「My プログラム作」成に挑戦、期日までにメールで提出を。

第 4 期

第 8 回 9月11日 (土) 13:00~17:00 **会場②** オリンピックセンター棟 40人室
レクチャー 提出された「My プログラム」を共有しディスカッション。講師よりのアドバイスも。
体験と演習 受講生作成の「My プログラム」から「導入」と「展開」の数パターンを「模擬授業」体験。
終了の課題 講座受講を通じての「重要な発見」を幾つでも上げながら、自身の現場への抱負を書いて提出。

申し込み

日本児童・青少年演劇劇団協同組合 (児演協) info@jienkyo.or.jp

右記を記入の上、メールにてお申し込みください。 ①参加希望日 ②氏名 ③所属団体 ④電話番号 ⑤専門分野 ⑥経験年数